

333

87



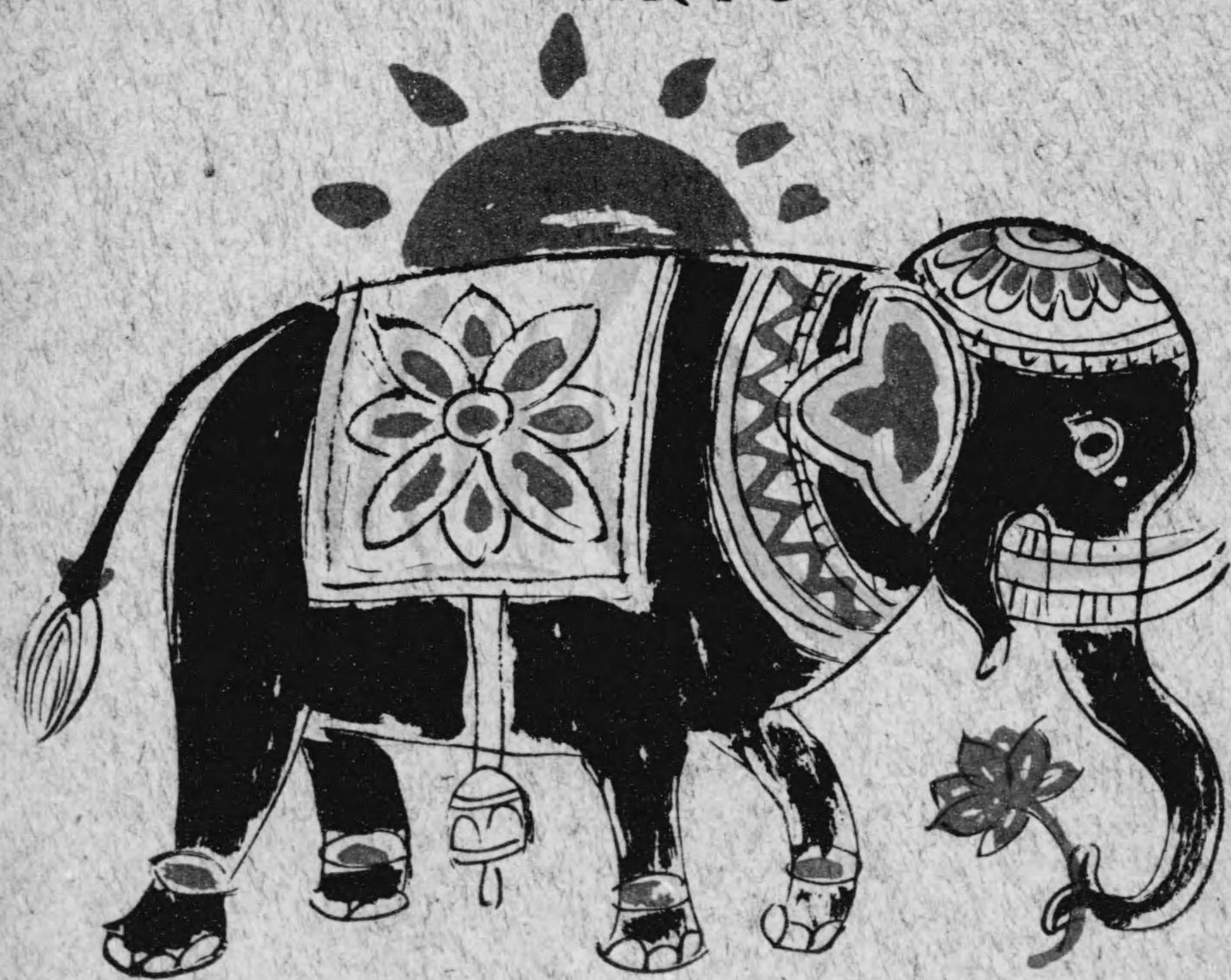
始



印度藝術總覽

A GENERAL VIEW OF
INDIAN ARTS

111-87



第二卷 第一輯

大正

13. 3. 3

Issued by The Society for the Study of Indian Arts

Tokyo

「印度藝術總覽」内容一覽 (第一卷第二輯附)

東京 東京美術學校 殿	東京 日 印協 會 殿	東京 千 櫛 谷 洗 錦 殿
東京 田 島 常 三 殿	東京 冬 高 橋 順 次 郎 殿	東京 前 原 藤 一 郎 殿
東京 正 木 直 彦 殿	神 戶 神 戶 幸 吉 殿	東京 井 上 利 正 殿
東京 成 田 山 新 勝 寺 殿	東京 笠 松 勝 義 殿	東京 井 上 利 正 殿
東京 野 生 司 香 雪 殿	千 櫛 谷 千 櫛 谷 長 生 殿	東京 小 笠 原 長 生 殿
東京 多 賀 道 吉 殿	東京 朝 井 觀 波 殿	東京 勝 田 蕉 琴 殿
東京 藤 崎 細 川 護 立 殿	橫 濱 矢 野 美 津 次 殿	各 古 屋 瑞 超 殿
東京 津 端 道 彦 殿	東京 堅 山 南 風 殿	京 都 石 崎 光 瑤 殿
東京 沼 田 才 治 殿	東京 岡 岡 敬 遠 殿	東 京 山 上 曹 源 殿
東京 寺 崎 廣 載 殿	各 古 屋 大 石 三 千 種 殿	東 京 櫻 井 義 肇 殿
橫 濱 中 野 觀 象 殿	印 度 タ 子 一 郎 殿	兵 庫 原 文 次 郎 殿
東京 小 林 吉 殿		

(同不序順) 名芳家藏所品載攝

第一卷目次 (第八輯乃至)

四一、夕月夜	莫臥兒朝繪畫	彩色木版	寶島大
四二、三尊佛	健陀羅發掘石彫	高真版	高真版
四三、音樂遊興	波斯古畫	高真版	寶島大
四四、樂舞	バルブー卜石彫	高真版	高真版
四五、禮拜	アラバチー卜石彫	高真版	高真版
四六、木末利菩薩	西藏古畫	彩色木版	寶島大
四七、佛音	佛陀伽那發掘石彫	高真版	高真版
四八、印度更紗(二)	インド更紗	彩色木版	野生司香雪君藏
四九、下美人	健陀羅發掘石彫	高真版	高真版
五〇、那羅	佛陀伽那發掘石彫	高真版	高真版
五一、王妃化粧	アラヤンタ壁畫	彩色木版	井上利正君模寫
五二、佛陀及菩薩	健陀羅發掘石彫	高真版	高真版
五三、神話	莫臥兒朝繪畫	高真版	寶島大
五四、說法印佛陀	佛陀伽那發掘石彫	高真版	高真版
五五、アルダグ	細密石彫	高真版	高真版
五六、花園馳遊	波斯古畫類面	彩色木版	笠松勝義君藏
五七、施無畏印佛陀	鹿野苑發掘石彫	高真版	高真版
五八、印度更紗(三)	ラクノ産	彩色木版	高真版
五九、菩薩	細密石彫	高真版	高真版
六〇、白象王本生譚	アラヤンタ壁畫	高真版	高真版

第二卷目次

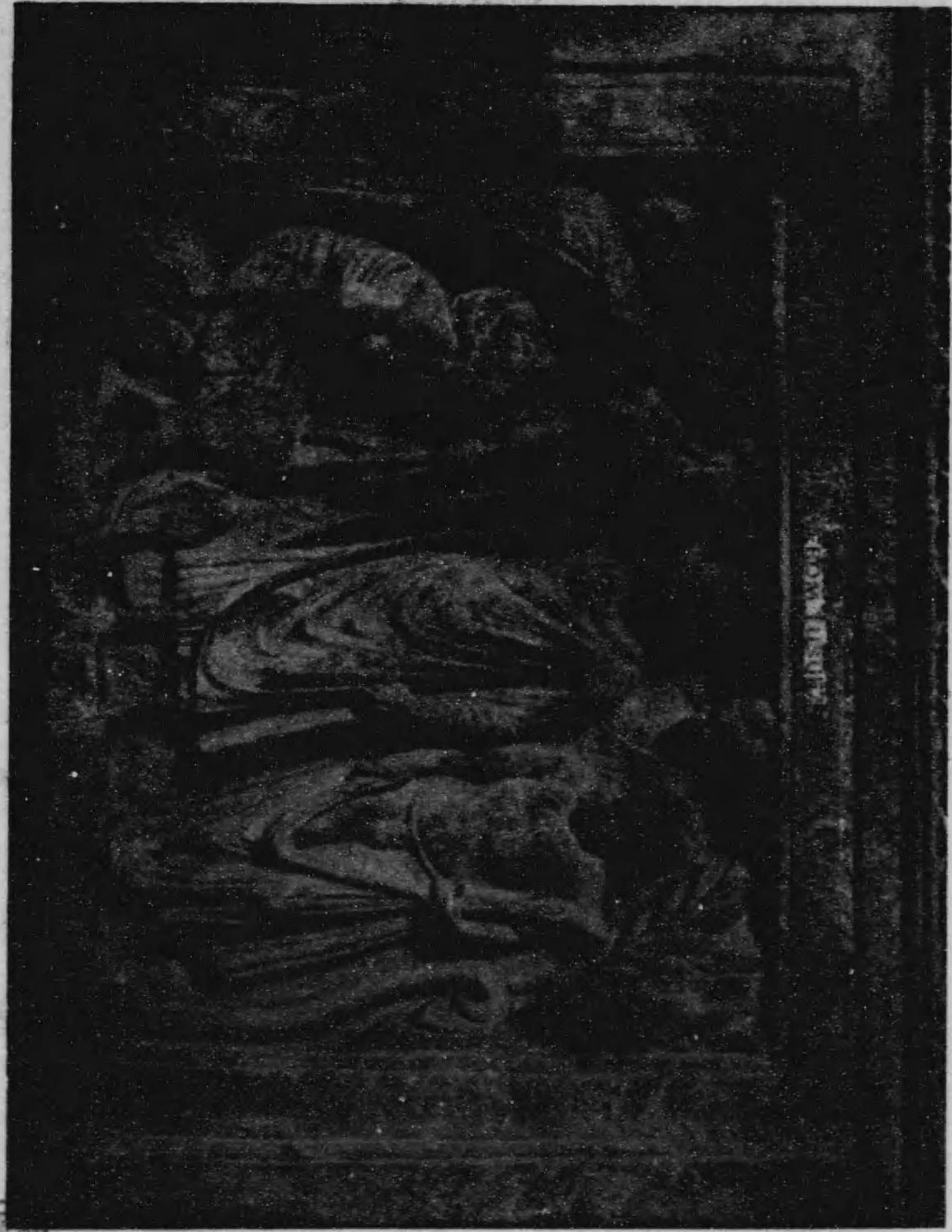
一、白衣美人	莫臥兒朝繪畫	彩色木版	寶島大
二、阿羅藍仙人訪問	健陀羅發掘石彫	高真版	高真版
三、印度更紗(一)	ラクノ産	彩色木版	野生司香雪君藏
四、耆那教本尊	細密石彫	高真版	高真版
五、古代水壺	鍍金象眼	高真版	寶島大
一、白衣美人	莫臥兒朝繪畫	彩色木版	寶島大
二、阿羅藍仙人訪問	健陀羅發掘石彫	高真版	高真版
三、印度更紗(一)	ラクノ産	彩色木版	野生司香雪君藏
四、耆那教本尊	細密石彫	高真版	高真版
五、古代水壺	鍍金象眼	高真版	寶島大

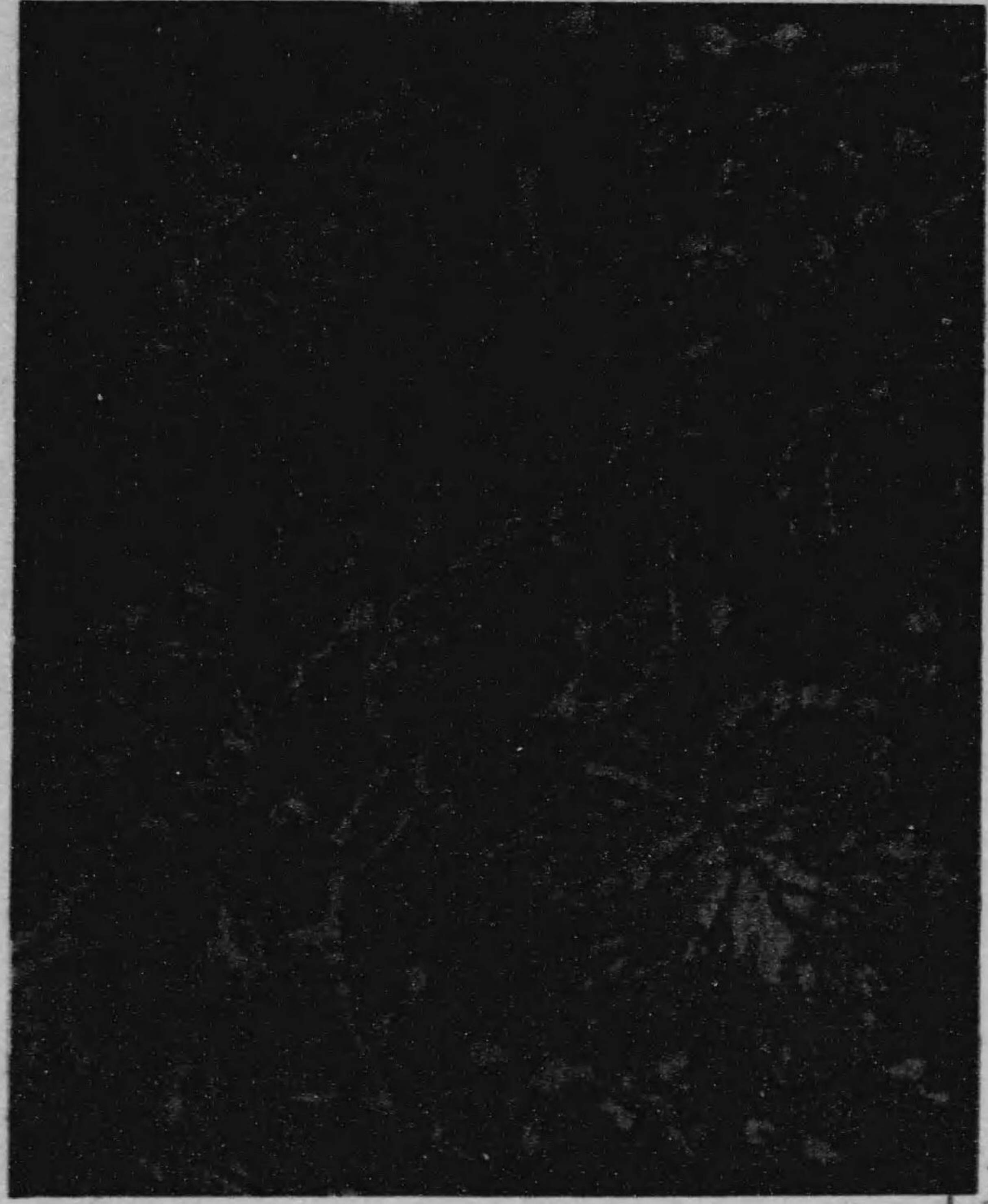
大正十一年十月二十日 印度藝術研究會



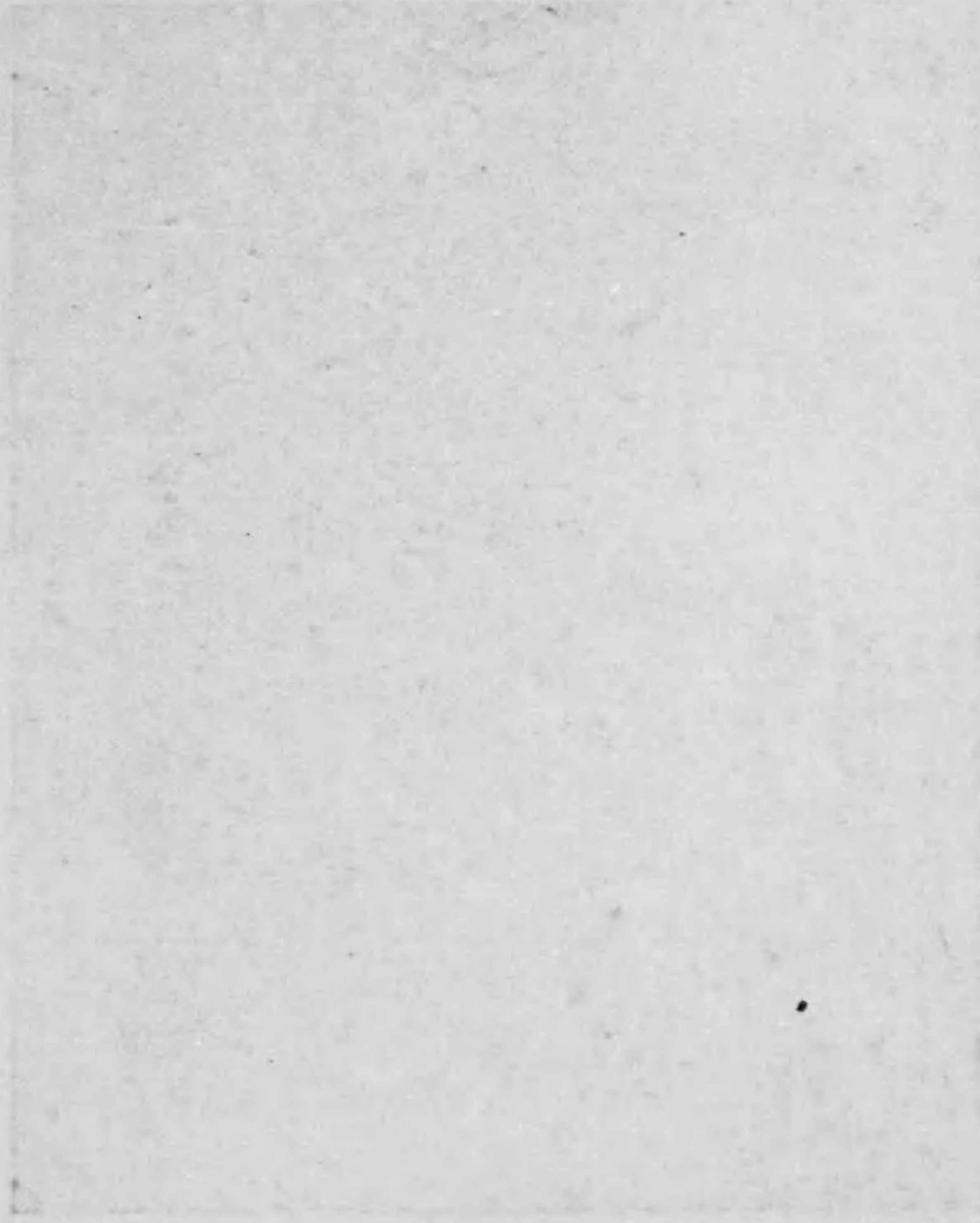
五

五





⑥

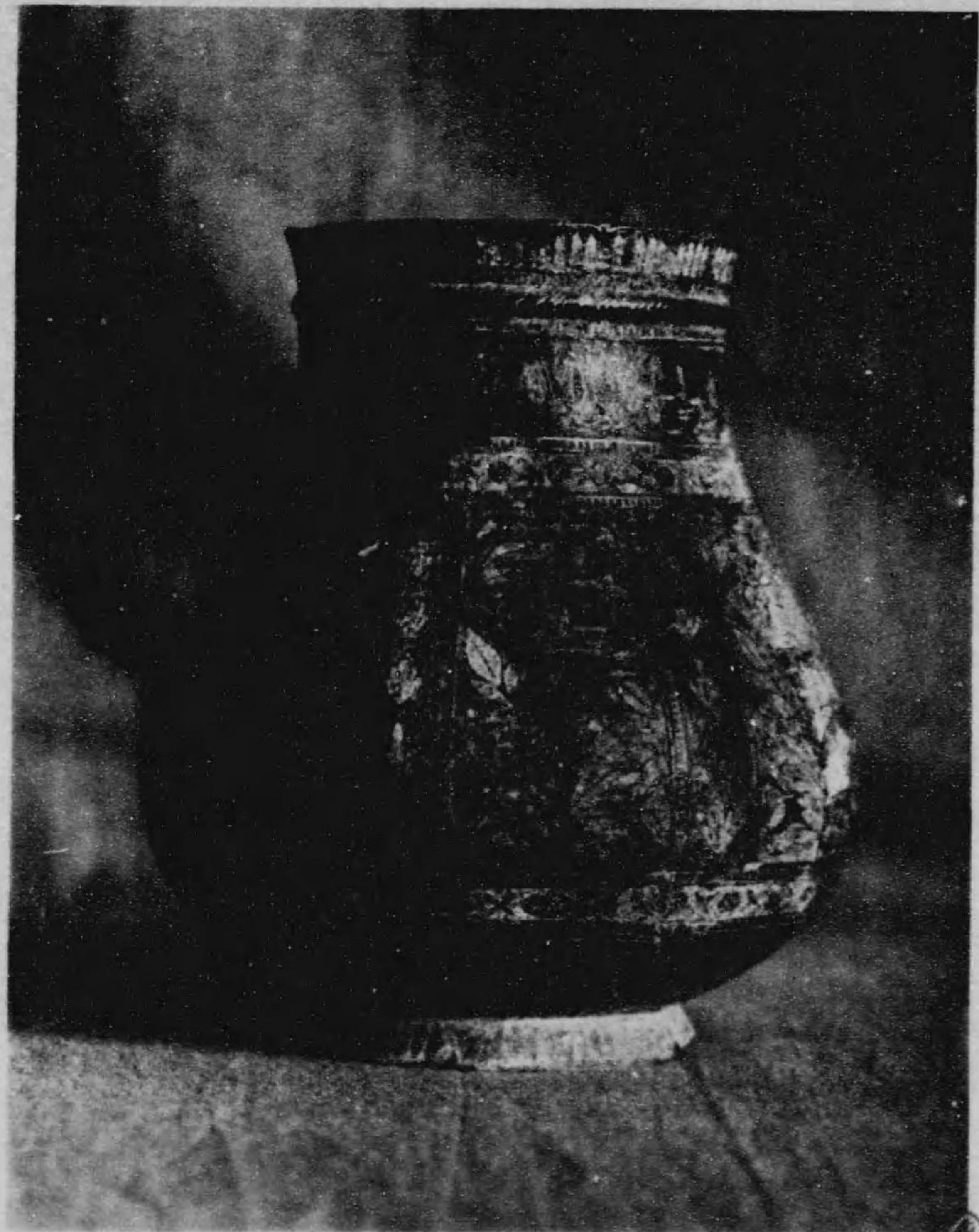


原藏會文研術藝復印 藏館博マツカッタカ 紀世一第——牛紀世一九前元紀 朝王聖陀健 潮宮羅陀健 鹿訪人仙靈羅阿 二第卷二第覽地術藝復印



Fran





©1911



印度藝術總覽第二卷第一輯目次及說明

第一 白衣美人 (繪畫) 桐谷洗麟 君藏

第十六世紀中葉乃至第十八世紀後半莫臥兒朝の作。莫臥兒朝繪畫は執れも小品にして、凡ゆる色彩を施し、非常に細密に描かれ、あるを普通とする。本圖は之れと異なり、清楚なる白色の服裝の美人に配するに空裏面を以て大なる赤色の太陽の背景を以て、頭部、顔面等重要な點に、幾細の努力を費し、以下其他は筆致の線を以て大膽に畫き現はせる等、頗る進歩し居るを見る。

第二 阿羅藍仙人訪問 (石彫) カルカッタ博物館藏

健陀羅發掘品。第一世紀乃至第一世紀半頃の作。佛陀出家し迦毘羅城出城後、摩竭陀國王舍城の山中に波羅門の學者阿羅藍迦爾を訪ひ、生死の根本義に就き問答せしむ信仰を得ず、去つて他に行き苦行せり。本圖彫刻は其訪問の光景なり。佛陀の背後に立てる羅藍の像は、パオラと稱する武裝を携へたる佛陀の大苦行の際にも、大問答の際にも、背後に大なる者ありと云ふ信仰上の大決心を有することを表現す。之れが後世我國に於ける執金剛神或は仁王等となりたるものなり。

第三 印度更紗 (一) (彩色木版) 野生司香雪君藏

ラタノ産更紗。此模様は更紗のみならず、風野苑等彫刻中にも盛んに應用せられ、菩薩像の背景或は蓮華模様等に、或は之を長くし、或は圓くし、又は其間に鳥を配するなどして用ゐり。更に支那に傳はり、羅漢の袈裟の模様等にも、屬々之を用ゐり。

第四 着那教本尊 (石彫) カルカッタ博物館藏

着那教本尊。開羅ダマドマ、シユナトラ像。等類地未詳年代未詳。着那教は佛敎より少く前に印度に起りたる一宗派。着那とは一切世苦を超越せる勝者の意。其祖は中印度刹帝利種に生れ八歳にして出家し、四十歳にて勝者となり、後教團を結

びて一派を成し、其教派は印度にて波羅門及び佛敎と共に三大宗教の一と成れり。佛陀存生中も佛敎と勢力を争ひて盛大な極め、今日も猶舊態を極む。此宗教には以前は像を造らざりしも、佛敎と競争の結果之を造るに至り、真中に本尊を安置し、左右に脇士を附する等、佛敎に於けると同じ形式の像を造りて禮拜せり。

第五 古代水壺 (陶器) 桐谷洗麟 君藏

古代貴族用水壺。年代未詳。陶器製にして細かく銀眼を施しあり。古代印度に於ては鐵製の器具をあまり用ゐず、眞鍮製に打出し彫刻を施せるもの等を多く用ゐたり。現に發見せらるる古き物にも、眞鍮製は屢々見れども、鐵製は少なし。而も此壺の形は印度に多く見るものと異り、又其模様の如きも波斯式の細密なる彫刻を施しあり。されば此壺は或は波斯の影響を受けて僅かに造られたるものを貴族富豪等が使用せしものと思はる。

意匠匠 印度古代模様

意匠匠は佛敎より出で、利便用途にして種々變遷し、遂に茲々と云ふ普賢菩薩が六牙の大象に騎れる様を模倣したるもの。

大正十一年十月十五日 印刷
大正十一年十月二十日 發行

不許複製

編輯人 伊 尾 準
印刷人 友 田 寛 治
印刷所 東京市小石川區金富町十四番地 印度藝術研究會印刷部
發行所 東京市小石川區金富町十四番地 印度藝術研究會
編輯口座東京三六八五番

終

印度藝術總覽第二卷第一輯目次及說明

第一 白土美人 (白土) 桐谷洗 著
第二 印度藝術總覽第二卷第一輯目次及說明
第三 印度藝術總覽第二卷第一輯目次及說明
第四 印度藝術總覽第二卷第一輯目次及說明
第五 古代水壺 (一) 桐谷洗 著
第六 古代水壺 (二) 桐谷洗 著
第七 古代水壺 (三) 桐谷洗 著
第八 古代水壺 (四) 桐谷洗 著
第九 古代水壺 (五) 桐谷洗 著
第十 古代水壺 (六) 桐谷洗 著
第十一 古代水壺 (七) 桐谷洗 著
第十二 古代水壺 (八) 桐谷洗 著
第十三 古代水壺 (九) 桐谷洗 著
第十四 古代水壺 (十) 桐谷洗 著
第十五 古代水壺 (十一) 桐谷洗 著
第十六 古代水壺 (十二) 桐谷洗 著
第十七 古代水壺 (十三) 桐谷洗 著
第十八 古代水壺 (十四) 桐谷洗 著
第十九 古代水壺 (十五) 桐谷洗 著
第二十 古代水壺 (十六) 桐谷洗 著
第二十一 古代水壺 (十七) 桐谷洗 著
第二十二 古代水壺 (十八) 桐谷洗 著
第二十三 古代水壺 (十九) 桐谷洗 著
第二十四 古代水壺 (二十) 桐谷洗 著
第二十五 古代水壺 (二十一) 桐谷洗 著
第二十六 古代水壺 (二十二) 桐谷洗 著
第二十七 古代水壺 (二十三) 桐谷洗 著
第二十八 古代水壺 (二十四) 桐谷洗 著
第二十九 古代水壺 (二十五) 桐谷洗 著
第三十 古代水壺 (二十六) 桐谷洗 著
第三十一 古代水壺 (二十七) 桐谷洗 著
第三十二 古代水壺 (二十八) 桐谷洗 著
第三十三 古代水壺 (二十九) 桐谷洗 著
第三十四 古代水壺 (三十) 桐谷洗 著
第三十五 古代水壺 (三十一) 桐谷洗 著
第三十六 古代水壺 (三十二) 桐谷洗 著
第三十七 古代水壺 (三十三) 桐谷洗 著
第三十八 古代水壺 (三十四) 桐谷洗 著
第三十九 古代水壺 (三十五) 桐谷洗 著
第四十 古代水壺 (三十六) 桐谷洗 著
第四十一 古代水壺 (三十七) 桐谷洗 著
第四十二 古代水壺 (三十八) 桐谷洗 著
第四十三 古代水壺 (三十九) 桐谷洗 著
第四十四 古代水壺 (四十) 桐谷洗 著
第四十五 古代水壺 (四十一) 桐谷洗 著
第四十六 古代水壺 (四十二) 桐谷洗 著
第四十七 古代水壺 (四十三) 桐谷洗 著
第四十八 古代水壺 (四十四) 桐谷洗 著
第四十九 古代水壺 (四十五) 桐谷洗 著
第五十 古代水壺 (四十六) 桐谷洗 著
第五十一 古代水壺 (四十七) 桐谷洗 著
第五十二 古代水壺 (四十八) 桐谷洗 著
第五十三 古代水壺 (四十九) 桐谷洗 著
第五十四 古代水壺 (五十) 桐谷洗 著
第五十五 古代水壺 (五十一) 桐谷洗 著
第五十六 古代水壺 (五十二) 桐谷洗 著
第五十七 古代水壺 (五十三) 桐谷洗 著
第五十八 古代水壺 (五十四) 桐谷洗 著
第五十九 古代水壺 (五十五) 桐谷洗 著
第六十 古代水壺 (五十六) 桐谷洗 著
第六十一 古代水壺 (五十七) 桐谷洗 著
第六十二 古代水壺 (五十八) 桐谷洗 著
第六十三 古代水壺 (五十九) 桐谷洗 著
第六十四 古代水壺 (六十) 桐谷洗 著
第六十五 古代水壺 (六十一) 桐谷洗 著
第六十六 古代水壺 (六十二) 桐谷洗 著
第六十七 古代水壺 (六十三) 桐谷洗 著
第六十八 古代水壺 (六十四) 桐谷洗 著
第六十九 古代水壺 (六十五) 桐谷洗 著
第七十 古代水壺 (六十六) 桐谷洗 著
第七十一 古代水壺 (六十七) 桐谷洗 著
第七十二 古代水壺 (六十八) 桐谷洗 著
第七十三 古代水壺 (六十九) 桐谷洗 著
第七十四 古代水壺 (七十) 桐谷洗 著
第七十五 古代水壺 (七十一) 桐谷洗 著
第七十六 古代水壺 (七十二) 桐谷洗 著
第七十七 古代水壺 (七十三) 桐谷洗 著
第七十八 古代水壺 (七十四) 桐谷洗 著
第七十九 古代水壺 (七十五) 桐谷洗 著
第八十 古代水壺 (七十六) 桐谷洗 著
第八十一 古代水壺 (七十七) 桐谷洗 著
第八十二 古代水壺 (七十八) 桐谷洗 著
第八十三 古代水壺 (七十九) 桐谷洗 著
第八十四 古代水壺 (八十) 桐谷洗 著
第八十五 古代水壺 (八十一) 桐谷洗 著
第八十六 古代水壺 (八十二) 桐谷洗 著
第八十七 古代水壺 (八十三) 桐谷洗 著
第八十八 古代水壺 (八十四) 桐谷洗 著
第八十九 古代水壺 (八十五) 桐谷洗 著
第九十 古代水壺 (八十六) 桐谷洗 著
第九十一 古代水壺 (八十七) 桐谷洗 著
第九十二 古代水壺 (八十八) 桐谷洗 著
第九十三 古代水壺 (八十九) 桐谷洗 著
第九十四 古代水壺 (九十) 桐谷洗 著
第九十五 古代水壺 (九十一) 桐谷洗 著
第九十六 古代水壺 (九十二) 桐谷洗 著
第九十七 古代水壺 (九十三) 桐谷洗 著
第九十八 古代水壺 (九十四) 桐谷洗 著
第九十九 古代水壺 (九十五) 桐谷洗 著
第一百 古代水壺 (九十六) 桐谷洗 著

不許複製

大正十一年十月十五日 印刷
大正十一年十月二十日 發行
編輯人 伊 尾 草
印刷人 友 田 寛 治
發行所 印度藝術研究會
東京市小石川區金定町十四番地
電話 四六八番